

# 平成24年度 学校自己評価システムシート (県立深谷第一高等学校)

目指す学校像	たくましく社会を生き抜く力を育てる地域に開かれた進学校
重点目標	1 生徒1人一人の学力を伸ばし、大学進学等を一層推進する。 2 部活動や学校行事を通じて、豊かな人間性や健やかな心身を育む。 3 生徒・保護者や地域の信頼と期待に応える。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	3名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)		
年度目標					年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	生徒の学習態度はよいが、強い意欲を持って学習に臨む姿勢にかけるところがある。	授業の改善と生徒の意欲を引き出す指導体制の構築	①研究授業を積極的に行うことでの指導力向上。 ②生徒の授業への取組態度の向上 ③家庭学習を促す指導 ④企画委員会「学力向上部会」の有効的活用	①公開授業週間を中心に研究授業を行う。 ②日常的に教員同士で授業を公開する。 ③チャイム着席の徹底 ④授業の工夫を通しての昨年度比家庭学習増 ⑤学力向上に向けての新たな方策を企画する。	①年間2回の授業公開週間を実施し授業研究を行った。 ②理科・公民・家庭科にて研究授業を行った。 ③92%の生徒がチャイム時に授業準備が出来ている。(昨年度91%) ④家庭学習時間は昨年度と同程度。 ⑤学力向上のための新たな方策は検討中である。	A	生徒の授業取組状況は良好である。家庭学習時間は7月調査で改善の傾向がみえたが、12月調査では前年度並であり、まだまだ不十分である。 教職員が共通理解を以て生徒の学習意欲を高める体制作りをさらに進め、全生徒が予習復習のため家庭学習時間を確保する取組が課題である。
1	ほとんどの生徒が進学志望であるが、向上心やチャレンジ精神を持って取り組む姿勢に欠けるところがある。	進学指導の充実と生徒の意欲の向上	①「一般受験対応クラス」の運営の充実 ②ガイダンス機能の充実 ③組織的な進学補習の実施 ④学年間の連携による進路指導の工夫 ⑤個別指導の工夫	①「一般受験対応クラス」の進路実績の向上 ②分野別ガイダンス年間5回以上実施の他進路体験発表会等の充実 ③進学補習20講座以上の開設 ④学年主任会をとおり、学年進路指導のPDSCの明確化 ⑤個別の進路相談、補習、面接指導の充実	①今年度2クラス編成となった。一般受験に向け挑戦中である。 ②ガイダンスを年間10回実施し指導が徹底できた。 ③補習講座は平日20講座、夏季休業中35講座を開講実施できた。 ④学年と連携が図れて、十分な指導が実施できた。 ⑤個別の進路相談、補習、面接指導を十分に行うことができた。国公立大学3名合格、中堅私立大学合格者が倍増した。	A	推薦入試での合格者や就職試験の合格者は順調である。一般受験者・センター試験の受験者に最後まで意欲を持って受験に臨む指導を実施している。 希望進路の実現に向けた学習の道筋を示し、継続的に学習する態度を通して学力の向上を図ることが課題である。
2	部活動や学校行事等に熱心に取り組む生徒が多い。しかし、十分に充実した学校生活を送っていない生徒もいる。	部活動の活性化と豊かな心の育成	①部活動指導の一層の充実 ②学校行事の充実 ③遅刻指導と清掃指導の徹底 ④ルールとマナー指導の徹底 ⑤アルバイトの制限の指導 ⑥安全指導の推進	①1年生全員加入と定着率の向上 ②文化祭等行事の生徒の満足度の向上 ③昨年度比遅刻指導生徒減 ④服装等違反者「0」と登下校時の指導の充実 ⑤アルバイト許可の際の厳正なチェック ⑥自転車乗車指導の徹底	①1年生の10月調査の部活動加入率は94、7%で定着率は良い。 ②学校行事の生徒満足度は高い。 ③昨年度遅刻指導生徒23名、今年度は1月現在5名である。 ④教員による校門指導を年間実施し、服装違反等を指導した。 ⑤アルバイト指導は申請させ、厳正に審査のうえ許可している。 ⑥自転車の指導を徹底している。	A	全体として生徒の問題行動は少なく落ち着いている。 頭髪・服装違反者の指導も厳しく、チャイム着席が徹底されており、授業態度も良好である。 部活動加入率も全学年で85.9%と高く、校外での活動成果も良好である。 生徒の実態に即した指導を引き続き行っていく。
3	地域の評価は高く、保護者、地域、中学生からの本校に対する期待は非常に大きい。	開かれた学校づくりと広報の充実	①ホームページの頻繁な更新による情報発信の充実 ②積極的な地域活動への参加 ③「ときわ樹だより」の市内全家庭回覧 ④「深一高お知らせメール」による保護者への情報提供 ⑤校内外における学校説明会の充実 ⑥PTAとの連携による美化	①年100回以上の更新 ②常盤小学校、深谷市関連行事への積極的な参加 ③「ときわ樹だより」年間2回の発行 ④年間20回以上の情報提供 ⑤年間30回以上の実施と個別相談会の開催及び相談機能の充実 ⑥校内の美化活動	①1月末現在282回の更新。 ②家庭部の常盤小との交流、深谷市「花フェスタ」参加を行った。 ③12月に深谷警察署と連携した交通安全キャンペーンを実施した。 ④7月と3月に2回発行した。 ⑤1月末現在で12回情報提供。 ⑥1月末現在で40回情報発信。 ⑦PTAとの連携による花植えを年間2回実施した。	A	「深谷花フェスタ」への参加、文化祭の一般公開、小学校・市役所・深谷警察署との連携等で開かれた学校作りは進んでいる。HPの更新回数も頻繁で、学校より多くの情報を発信している。 年間2回の授業公開週間を実施するとともに、本校の教育活動を充実させ、活動内容を地域に理解してもらい取組を今後とも継続していく。

学校関係者評価	
実施日 平成25年2月15日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
授業では、先生方がお互いに授業を見せ合う姿に関心した。先生方の授業に対する意欲は高いものがある。 生徒の家庭学習時間の調査結果をもとに、生徒の家庭学習の内容と授業の受け方に関する取組が必要である。 生徒は授業の進むスピードが速くて授業に困難を感じているということが報告されたが、授業をより積極的に受けられるような家庭学習に踏み込む授業(小テスト等)が望まれる。	
部活動も出来て、勉強も出来る進学校として良い学校である。 1年生の文系・理系の選択の時のガイダンスをさらに時間をかけてやって欲しい。 一般受験対応2クラスについては、結果が出ていないが、今後十分検討して欲しい。 受験に際し、生徒が楽な受験方法に流れやすいので、一般受験という方式によって基礎学力をつけて大学進学することが基本になるような授業を実施して欲しい。	
生徒はチャイム着席もできており、授業にも行事にも一生懸命取り組んでいる。 生徒は部活動に積極的に参加し活動している。県立高校としてさらなる実績があげられるようチャレンジして欲しい。 自転車通学の生徒が多いという現状から、交通事故の危険性がある。生徒の実態に即した指導の継続が今後とも必要である。	
地域の活動に取り組むとともに、良く広報活動をされている。 授業公開の参加者が減ってきているので、もう少し参加者を増やすための工夫改善をして欲しい。 深谷第一高校の生徒にはさらにチャレンジして、深谷市内に深谷第一高校ありといえるものが欲しい。	